

みずほCustomer Desk Report 2025/03/04号(As of 2025/03/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.58
TKY 9:00AM	150.88	1.0412	157.07	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.30	1.0504	158.45	1.2601	0.6217
SYD-NY Low	149.11	1.0381	155.94	1.2724	0.6254
NY 5:00 PM	149.50	1.0489	156.74	1.2576	0.6204
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,191.24	▲ 649.67	日本2年債	0.8300%	0.0200%
NASDAQ	18,350.19	▲ 497.09	日本10年債	1.4000%	0.0300%
S&P	5,849.72	▲ 104.78	米国2年債	3.9568%	▲0.0280%
日経平均	37,785.47	629.97	米国5年債	3.9660%	▲0.0444%
TOPIX	2,729.56	47.47	米国10年債	4.1580%	▲0.0436%
シカゴ日経先物	37,320.00	▲ 285.00	独10年債	2.4910%	0.1045%
ロンドンFT	8,871.31	61.57	英10年債	4.5595%	0.0760%
DAX	23,147.02	595.59	豪10年債	4.3290%	0.0210%
ハンセン指数	23,006.27	64.95	USDJPY 1M Vol	11.11%	0.36%
上海総合	3,316.93	▲ 3.97	USDJPY 3M Vol	10.52%	0.18%
NY金	2,901.10	52.60	USDJPY 6M Vol	10.32%	0.07%
WTI	68.37	▲ 1.39	USDJPY 1M 25RR	▲1.60%	Yen Call Over
CRB指数	300.28	▲ 1.55	EURJPY 3M Vol	10.82%	0.10%
ドルインデックス	106.75	▲ 0.87	EURJPY 6M Vol	10.64%	0.01%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月3日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	2月 50.8	50.4
	17:55	独 製造業PMI・確報	2月 46.5	46.1
	18:00	欧 製造業PMI・確報	2月 47.6	47.3
	19:00	欧 CPI速報値(前年比/前月比)・速報	2月 2.4%/0.5%	2.3%/0.4%
	23:45	米 製造業PMI・確報	2月 52.7	51.6
3月4日	00:00	米 建設支出(前月比)	1月 -0.2%	-0.1%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 50.3	50.7

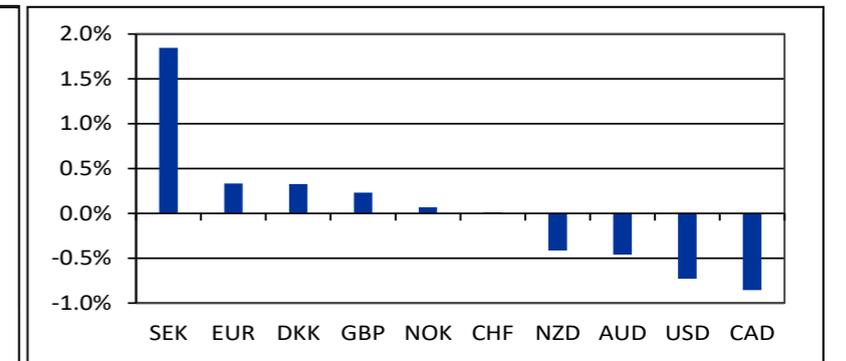
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月4日	08:30	日 失業率	1月 2.4%	2.4%
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.3%	-0.1%
	19:00	欧 失業率	1月 6.3%	6.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.80-150.80	1.0350-1.0580	155.50-158.00

【マーケット・インプレッション】

昨日トランプ大統領は円と人民元を名指して通貨安誘導と批判し、解決策として関税を課す可能性を示唆した。関税政策について、貿易相手国の為替操作の有無を税率に反映するとの姿勢を従前より示しており通貨安誘導国に関税賦課という点にサプライズはないものの、円を具体的に挙げたことからドル/円は大きな反応とならざるを得なかった。

米国を主語として対中貿易赤字は対日赤字の4倍超となっており、この二国を並べて指摘することにはやや違和感がある。また相互関税発動のタイミングも今のところ不明であり、そこに日本が含まれるのかも分からない。ただ、ベッセント財務長官からは日銀の金融政策正常化が遅く、日本の円が弱いままになっているという発言も聞かれていることもあり、米国サイドからこのような論調が強まるようであれば日銀金融政策に影響を及ぼす可能性も見てくるのでは。

東京	日本時間8時台に151.02の高値を付けたのち、150.88レベルで東京オープン。直後に150.50割れまで下押し、重い展開。公示を通過するとクロス円主導で一段と下押しする展開で、正午過ぎにつけた150.25が東京時間安値に。その後は持合いの様相に150.37レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ドルと円は他の主要通貨に対して下落し、株式は上昇し、市場はリスクオンの兆候を示した。USDJPYは150.37レベルで始まり、151.30に向かって上昇した後、151.22レベルでニューヨークに渡った。先週末、英国とフランスはゼレンスキー氏への支持を表明した。英FTSE100は航空宇宙・防衛セクターが主導で買われた。EURUSDは1.0415レベルで始まり、1.0476まで上昇した後、1.0471レベルでニューヨークに渡った。GBPUSDは1.2604レベルで始まり、1.2689まで上昇し、1.2688レベルでニューヨークに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台後半でスタート。米政権による対カナダ、メキシコへの関税発動を明日に控え、リスクオフムードから149.94まで下落。しかし、その後は米金利の上昇を受け反発し、151.22レベルでNYオープン。午前中に発表された米2月ISM製造業景況指数ヘッドラインが予想を下回ったことや、トランプ米大統領が「4月2日に外国産農産物に対してとの関税案を発動する」と発表した事を受け、リスクオフムードが強まり、150円ちょうど付近まで下落。午後はトランプ米大統領が「予定通り明日に対カナダとメキシコへの関税案を発動する」との発表を受け、リスク回避の円買いが一段と強まり、149.11まで続落。その後下げ渋り、149.50レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。ウクライナとロシアの紛争を巡る緊迫がやや後退した事を受け、独金利の上昇を横目にじり高で推移し、1.0471レベルでNYオープン。午前中は予想を下回った米経済指標の結果を受けやドル売りが優勢となり、1.05台を回復し、1.0504まで上昇。午後はトランプ米大統領の対メキシコとカナダへの関税案を予定通り明日発動するとの発表を受け、米インフレ再燃を懸念したUSD買いが重しとなり、1.0466まで反落。その後はドル買い一巡となり、1.0489レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。